

西之表市長選挙公報



やいた 俊輔
しゅんすけ

昭和28年 西之表市納留生生まれ
昭和52年 檳城小・檳城中・鶴丸高校卒
昭和57年 (社会部記者、熊本総局長など)
平成24年 早期退職、帰郷
平成27年 早大政経学部卒、朝日新聞社入社
平成28年 納留町内会長(馬毛島漂流)出版
平成28年 「月窓亭」ひとづまの会監事

3つの約束・22の提案

子育て健やか 人づくり

- * 小中学校の給食無料化を推進
- * 医療看護従事者の安定確保
- * 高等教育機関を誘致し若者を増やす
- * 高齢社会へ産学官民の連携
- * 過疎校区への定住を支援
- * 伝統芸能・技能の育成強化
- * スポーツ・文化の人材育成
- * 地域興しリーダーの研修・育成

いつの日か
帰りたい
そんな島にします

自然とITを活かし 産業振興

- * 農林漁業への新規就業を支援
- * 豊富な薬草資源で「健康」産業を育成
- * 種子島ブランドを増強し販路開拓
- * Uターン者の雇用創出、起業を支援
- * 種子島久一休の商流と人流
- * 「馬毛島活用室」(仮称)創設
- * 6次産業の支援

農山漁村の力で 港町再生

- * 海の玄関・西之表港に木の香る遊歩道
- * 鉄砲伝来の歴史と国際色の豊かな町並み
- * 種子島北部の観光拠点を整備し情報発信
- * 空き店舗・空き家を商工観光に活用
- * 低料金の大都市直航航空便を誘致
- * 高速船運賃の利用者負担軽減を推進
- * 地元FM放送で豊かなコミュニティ

種子島を
「第二の沖縄」
にしない



おぐら 伸一

西之表市長候補・無所属
(経歴) 文化協会長・ソフトボール協会会長
農業委員・下西小PTA会長
市議会議員・市監査委員

私は、市民生活をしっかりと見据えた政治を推進します。

- ◎ 自立・持続可能な西之表市・種子島の建設
- 地域間競争を勝ち抜くために「種子島市」を実現します。
- 消防署の移転・災害弱者対策・防災危機管理など大規模災害に早急に備えます。
- 農業を核として、小規模生産者や事業者を支援し農林漁業商工業・伝統産業の基盤を強化し経済を活性化します。
- ◎ 挑戦―「守りと攻め」の両面戦略を展開
- 離島格差を解消し観光・交流・人の循環を起こします。
- 市民所得の向上と雇用の創出・拡大を図ります。
- 地域を支え反映させる「人」への積極的投資を行います。
- 中心市街地活性化計画を策定し街中のぎわいや交流を起こします。
- いいものを生かし切り、島外・海外展開に打って出ます。
- ◎ 公正・公平とともに進む「共生社会」を実現し、「公平無私」で市政運営します。
- 「協働社会」実現に向け、市長給与を削減します。
- 子育て支援を充実し経済的負担を軽減します。
- 文化、スポーツ(年次の施設整備)を振興します。
- いじめや不登校、ひきこもりを無くし、保育・教育・療育の環境整備を進めます。

*馬毛島への米軍訓練移転については、反対します。

予算の組み替えで市政の見直しを!

- * 市長、副市長、教育長の年俸を500万円に 退職金は廃止
- * 正職員の平均年俸は勤労者の全国平均400万円に 退職金は1千万円に 人数は臨時職員を活用して100人程度に 正職員と臨時職員の格差を是正
- * 人件費と補助・負担金で7億円捻出、保育所から高校まで無料化、国保保険料を2割程度引き下げ
- * ゴミ一掃と緑化事業で美しい種子島にして観光産業を振興
- * 担い手が羽ばたける農林水産業の土台を造り、支援する
- * 全市を挙げて生活習慣改善による健康づくり運動を展開
- * 馬毛島の軍事基地は財政破綻と軍拡競争への道 断固反対
- * 本市は財源の5割を借金地獄の国に依存、財政再建待ったなし
- * 選挙助成金約75万円はもらわず金をかけない選挙運動を実践



瀬下 みつよし
(六十五才)

住吉上能野出身
納曾在住、九大卒
市議会議員三期

本当の改革が私なら絶対に出来る!!

はまがみ幸十 三大公約

- 日本初の海上海中テーマパークを建設します
- 新アプローチで種子島に早期に自衛隊基地を誘致します
- 「種子島構想」を成し遂げます!

はまがみ 幸十実現可能政策 「幸、せ運ぶ」の誓い

- 【誓い1】 西之表市の防犯体制大改革
- 【誓い2】 企業(大型事業)誘致
- 【誓い3】 スポーツ振興特別施策として「プロスポーツキャンプ」誘致ならび「プロ野球公式戦等」招致を成功させることを誓います
- 【誓い4】 ふるさと納税から農林水産業の活性化を誓います
- 【誓い5】 子育て支援と高齢者に安心な生活環境創生を誓います
- 【誓い6】 災害に強く、種子島の財産である素晴らしい自然都市創りを誓います
- 【誓い7】 財政・市役所大改革を誓います
- 【誓い8】 市長任期は基本3期12年と定め、4期目は「市民の総意」を得た上で継続を検討することを誓います
- 【誓い9】 副市長2名体制として2名の副市長うち1名は「西之表市初の女性副市長」誕生を誓います
- 【誓い10】 まち・ひと・しごと創生法西之表市総合戦略室を設置することを誓います

ホームページは はまがみ幸十 で検索 <http://kojuhamagami.wixsite.com/koenkai>
はまがみ幸十は Facebook をやられております



はまがみ 幸十
こうじゅう

前西之表市市議会議員
種子島高等学校 卒業
西之表市住吉生 昭和25年5月26日(66歳)
重犯行組織犯罪対策課管理官
警視正(定年退職)



丸田 健次
(58歳)

まる た けん じ

次の世代に何を残すのか 想いをかたがちに

我が西之表市は、危機管理のモードにあります。福祉も、社会インフラも、防災も財政もすべてがそうです。しかし、未来を諦めるわけにはいきません。この街で生きて行かなければならない私たちが、共に働き、生活できる経済環境を作ることが最大の課題です。どんな事業を興すにも、財源的背景が必要です。馬毛島は西之表市の経済活性化、財源として有効に活用されるべきです。歓迎し難いことなかももしませんが、我が国の安全保障に深くかかわる事であること、そしてその経済効果を考えて、受け入れるという判断は正しいと考えます。この島のこと、大好きな若者と、私たち市民の未来のために。

- プロフィール
- 檳城小PTA会長
- 檳城校区青少年指導部長
- 西之表市子ども育成連絡協議会長
- 平成二十一年、西之表市議会議員二期
- 昭和三十三年七月三十日生まれ 五十八歳



えのもと 榎元かずみ

元 西之表市議会議員
元 九州市議会議員兼理事
元 全国市議会議長会地方財政委員長
現 馬毛島の米軍施設に反対する市民団体連絡会代表

市政施行以来、西之表市の人口は減少を続け、様々な形で市民生活に影響を与えています。これまでの政策の延長では、この問題の解決を図ることは難しいと考えます。「市議会議員20年の経験」「ぶれな政治姿勢」「力強いリーダーシップ」を力に、これまで培った国や県との繋がりを活かし、独自の視点をもち、進めます。市政は公正、公平に進めなければなりません。多様な市民の意見を調整する(仮称)市民会議を設置し、英知を結集して政策を実行し、一人ひとりが生涯輝けるまちづくりを目指します。榎元かずみに皆様方のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

主な政策

- 「和」の政治によるふるさと興し
- 市民合意の形成を図る(仮称)市民会議の設置
- 産業の立て直し
- 所得の源泉である第1次産業の振興
- 農業・海・空・健康を活かした観光産業の振興
- 農工商連携、6次産業化の推進と特産品開発に挑む製造業の支援
- すべての人にやさしいまちづくり
- 子育てしやすい環境整備 2. 元気に活動する高齢者づくり
- 将来不安を解消する福祉・医療・介護対策
- 若者が活躍しやすい社会の形成 5. 定住対策の推進
- 災害に強いまちづくり
- 将来につながる人づくり
- 子どもを育む環境整備 2. 社会を担う一人ひとりを応援
- 行政改革の推進
- 1 市民サービスの基盤となる健全財政の堅持
- 2 新たな政策に対応した行政及び自治組織の仕組みづくり

この選挙公報は、候補者から提出された原文のままを掲載したものであります。選挙公報をよく読んで、自分の考えで一票を投じましょう。

投票日は1月29日(日)です。

投票用紙には、候補者一人の氏名だけはっきり書きましょう。

選ぶ日が、生きて伸びゆく 地方自治